信頼の証し、エコマーク

中立の第三者機関である
日本環境協会が認証する環境ラベルです。

ライフサイクルを考えて商品の種類ごとに作られる認定基準は、環境の専門家や学識者などからなる委員会で検討、審議されています。
その厳格な基準を満たした商品は、中立な立場の専門家や有識者により審査されます。公平・公正な審査に合格した商品（製品・サービス）だけにつけられる信頼のマークです。

世界のエコマークの仲間たち

エコマークは、同じ国際規格（ISO14024）により運営される世界のタイプⅠ環境ラベルと協力・連携し、世界の環境負荷低減に努めています。

［代表的な世界のタイプⅠ環境ラベル］

ドイツ　北欧NS　中国　韓国　ニュージーランド

タイ　香港　シンガポール　北米　台湾

どれだけ知ってる？

こんなところにエコマーク

エコマークは、70種類以上の商品分野を対象にしています。

作業着・制服	パソコン	ティッシュペーパー
食器	時計	ノート・鉛筆
シャワーヘッド	ベッド・寝具	まほうびん

これからも様々な分野に広がります

モノだけじゃない！

サービスにもエコマーク

ホテル・旅館	スーパー・小売店	ショッピングセンター
飲食店	美容室	テイクアウト デリバリー店舗

公益財団法人日本環境協会 エコマーク事務局
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-10-5 TMMビル5階
［TEL］03-5829-6286　［Mail］info@ecomark.jp

サスティナブルな社会をみんなで作ろう！

地球環境を守るには、普段の買い物で
環境を考えた商品（製品・サービス）を
選ぶように心がけることが大切です。
エコマークは、環境に配慮した商品と
消費者をつなぐコミュニケーションツール。
買い物のときには、「エコマーク」を目印に、
エコな製品・サービスを選びましょう。

エコマークは、商品の一生※と、4つの環境問題を考えた環境ラベルです。

※ライフサイクル全体

たとえば、再生材料を使用しているからといって、
使用時のエネルギーが大量に必要では、環境にいいとはいえません。
エコマークは、商品の1つの側面ではなく、
総合的な観点から評価をしています。

商品の一生

STEP 01
ざいりょう
資源採取
Take

STEP 02
つくる
製造
Make

STEP 03
はこぶ
流通
Distribution

STEP 04
つかう
消費
Use

STEP 05
リサイクル
再利用
Recycling

STEP 06
すてる
廃棄
Dispose

4つの環境問題

- 省資源と資源循環
- 地球温暖化の防止
- 有害物質の制限とコントロール
- 生物多様性の保全

Q. どれくらい知られてる？

認知度 80％以上

主な環境ラベルの中で、エコマークは最も知られているマークです。1989年の制度開始から30年以上、環境配慮商品の目印として使用されています。

Q. 認定商品はどのくらい？

約 50,000点

5万点の認定商品のうち、最も多い商品は「文具類」。1万点以上の認定品があります。2番目に多い分野は作業服などの「衣服」、次いでごみ袋や食器などの「日用品」が続きます。

Q. 他にも同じようなマークはある？

オンリーワン。

日本で“唯一”のタイプⅠ環境ラベル

エコマークは、厳しい審査のもと環境のことを考えた商品（製品やサービス）につけられます。エコマークは、ISO14024に則って運営する日本で唯一のタイプⅠ環境ラベルです。